

先達に感謝する学校創立記念日



6月18日は、本校の創立記念日です。ロンドン日本人学校の歴史を振り返ると、今から53年前の昭和40(1965)年9月に、本校の前身である日本クラブ主催の「日本語会」が発足し、20名の子どもたちと4名の講師で日本語学習が始まりました。その後、年々児童生徒が増加し、自分たちの「日本人学校」を創ろうという気運が高まりました。先達の努力を得て、昭和51(1976)年6月18日に英国の私立学校として認可され、その日が本校

の創立記念日と定められました。今年は創立42年になります。当時は校舎がなかったのでアメリカンスクールの講堂を借りて開校式が行わ



れました。授業は、小学部は日本クラブ、中学部は大使館広報センターで行われました。昭和52(1977)年2月には在外教育施設として文部省(当時)の指定を受け、4月にカムデン校舎に移転しました。そして児童生徒数が600名を越えた昭和62(1987)年に現在のイーリング区アクトン校舎に移転しました。これまでの卒業生は、小学部で3,201名、中学部で1,810名を数え、数多くの優れた人材を輩出しています。

本校では、学校創立・発展に尽力いただいた方々に感謝し、これからも本校の歴史と伝統を引き継いでいきます。

また、子どもたちが互いを思いやり、学び合いながら、毎日楽しく充実した学校生活が送れるよう、さらには、校歌に歌われておりますとおり、「心豊かに、健やかに、自ら学び」「世界を結ぶ架け橋」となれる児童生徒の育成を目指して日々の教育活動の充実に努めてまいります。

人とのかかわりのなかで

6月に入り、子どもたちは徐々に新しい学年・学級にも慣れ、楽しく生活している様子が見られます。



しかし、日々の生活のなかで思いどおりにならないこともあります。時には、自己中心的な言動から、友だちや先生を困らせたり、迷惑をかけたことがあったかもしれません。

「人様に迷惑をかけてはいけない」これは、社会生活を送る上で最も大切なことのひとつです。学校でも、授業時間をはじめ、学校生活のあらゆる場面で、「人に迷惑をかけない」ということを指導しています。社会通念上、ならぬことはならぬものです。

しかし、ここで視点を変えて考えてみると、誰にも迷惑をかけずに生きていくことは生活をする上で難しいことです。肝心なのは、迷惑をかけた時、相手がどんなに困るのか、どんな思いを抱くのかということを感じる体験を通して、相手のことを考えた対処法を身に付けることです。それは、謝罪する、反省する、自制する、自重する、戒慎する等の心構えをもつよう努力することです。また、一方では、親や先生に迷惑をかけたくないからという思いから「嫌なことや困ったことを相談しない」という考えをもつ子どももいます。こうなってしまうと、例えば、「いじめを受けていても相談しない」「少しのことなら我慢しないといけない」などと気持ちを抑圧することにつながってしまう恐れがあります。

ぜひ、「人は小さな迷惑をかけながら成長していくこともある」ということを学校と家庭で共有し、機を逃さない指導を心がけていきたいと考えています。

充実の水泳学習

5月2日、9日、
16日(水)に小学部
4年生の水泳学習が
Brentford Fountain
Leisure Centreで実
施されました。気温は



低かった日もありましたが、子どもたちは毎回の学習をととても楽しみにしていました。

はじめに水慣れの活動をしました。水中じゃんけんをしたり、水をかけ合ったりし、子ども達の楽しそうな声がプールに響きました。その後、泳力別に3つのグループに分かれて学習しました。初級グループは、水に慣れるためビート板を使って浮く練習や、け伸びの姿勢を崩さずに泳ぐ練習をしました。中級グループは、クロールの手の動きと、息継ぎの練習をメインに行いました。上級グループは、様々な泳ぎ方に挑戦したり、長い距離を泳いだりしました。学習後の振り返りからは、「水の中でしっかりと息をはけた。」「息継ぎが上手にできるようになった。」「泳げる距離が伸びた。」など、子ども達自身が自分の成長を感じられたことが伝わってきました。また、施設の職員の方から学習中の態度について「行儀よく、礼儀正しいですね。」とお褒めの言葉をいただきました。楽しみながらもけじめをつけて一生懸命に学習し、たくさん水に慣れ、たくさん泳ぐことができた水泳学習となりました。

発見いっぱい！町たんけん

小学部3年生は、
5月17日(木)に
社会科とロンドンタ
イム(総合的な学習
の時間)の学習とし
て「町たんけん」へ



行きました。3グループずつ West Acton 方面と Ealing Common 方面に分かれて調査活動をしました。今回の目的は、2つあります。普段歩いている地区を紹介する地図を作ることと、様々な立場の人が一緒に生活するうえで、住みやすくするためにどのような工夫があるのかを見つけることです。視点を変えて見てみると色々な発見があったようです。

見つけたものを白地図に書き込むと、「目の不自由な人が安全に渡れるように、交差点には点字プロ

ックがあります。」など、物と場所との関係から、見つけた物の役割を考えることもできました。駅や駅周辺の店ではインタビューをしました。「1日に何人位の人が利用しますか。」など、グループで考えた質問を、日本語や英語でしっかりとすることができました。はじめは緊張していた子どもたちでしたが、駅員や店の人とコミュニケーションを深めていくことで緊張もほぐれ、笑顔で接することができました。

たくさん歩き、たくさん発見し、子どもたちは達成感に溢れた表情で帰ってきました。子どもたちが安全に、充実した「町たんけん」ができたのも、ヘルプの皆様のバックアップのおかげです。ご協力ありがとうございました。今後は、グループごとに絵地図をまとめ、ロンドンタイムの時間に発表します。

魅力発見 町たんけん

小学部2年生は生
活科の学習として、
5月24日(木)に「町
たんけん」を行いま
した。探検の始まりは雨



が降っていましたが、すぐに天気が回復し青空が広がってきました。今回探検したのは、学校周辺、West Acton 駅、ノエル公園の3か所です。子どもたちは、3、4人ずつのグループで、それぞれがリーダー、安全係、時計係、地図係となって活動しました。ヘルプの保護者の方にアドバイスをいただきながら、グループで助け合っ

て取り組むことができました。活動を終え、笑顔で学校に戻ってきた子どもたちからは、「学校の周りには、レンガ造りの家がならんでいたよ。」「駅員さんにインタビューして、West Acton 駅は1923年にできたと教えてもらったよ。」「ノエル公園には遊具があって、カタツムリがたくさんいたよ。」などの感想が聞かれ、充実した「町たんけん」だったことが伝わってきました。歩いた場所は、普段、通学路として利用している児童も多く見慣れた場所でしたが、よく観察することでたくさんの発見があったようです。学習のまとめとして、West Acton の町の地図作りに取り組みました。町の魅力がたくさん見つかった地図ができあがりました。